

[第 163 回藤樹人間学塾のご案内]

皆さま

2025 年 6 月



主 催 NPO法人高島藤樹会

- 日 時 2025 年 7 月 5 日 (土) 15時～17 時
 - 場 所 高島市安曇川公民館(高島市安曇川町田中89) ☎0740-32-0003
 - テーマ 「藤樹先生に学ぶ人間学」
テキスト 熊沢蕃山著・伊東多三郎現代文訳『集義和書』(中央公論社)p.235～
 - 塾 長 田中 清行 (090-1026-7882)
 - 懇親会 17 時 45 分～ 場所 丸三旅館(高島市安曇川町西万木1045-1)
☎0740-32-1339
- 参加費 6,000 円★参加いただける方は、6/28 までに田中までご連絡ください。

2025 年 6 月 7 日(土)、安曇川公民館で第 162 回藤樹人間学塾を開きました。京都から 1 名、大津から 6 名を入れて 11 名参加(うち女性 6 名、初参加者 1 名)でした。

■ テキスト
『中江藤樹・熊沢蕃山』(中公バックス日本名著)

■ テキストの見出し

「集義和書」書簡の 4 学舎の壁書、浄土宗と日蓮宗の戒律を輪読し、資料も説明しました。

■ 配布資料

(1)「まなざし 481 号」、(2)宮沢賢治「久遠の宇宙を生きる」(NHKこころの時代)、(3)タモリ・山中伸弥「人体Ⅲ」第 3 集 命のつながり(NHK)、など。

■ 今日のポイント

- ・ 学舎の壁書…(1)仁者は太虚(宇宙の根元・大宇宙)を心とする。天地、万物、山水、河海はみなわがものである。(2)君子は人が見てもよいとしても、神が見てよくないことをしない。人が見て悪いとしても天が見てよいことは行う。…君子は独りを慎む。小人閑居して不善をなす。
- ・ 浄土宗と日蓮宗…浄土教においては、阿弥陀仏が住む西方の極楽浄土に往生することが最大の救いとされた。しかし日蓮宗では、今ここに住んでいる娑婆世界のただ今、この一瞬の時間の中に、永遠の時間が内包され、そのまま、御仏の救いが成就すると説く。
- ・ 人体Ⅲ 命のつながり…全生命の祖先は 40 億年前の 1 つの細胞だった。その細胞がひたすら分裂を繰り返し、地球の隅々にまで広がっていった。地球上の全生命体は細胞がみな同じ材料で作られている“細胞きょうだい”である。…太虚が造り出したいのちは太虚の分身であり互いに兄弟姉妹であるので仲良くすべしという中江藤樹の「孝の思想」と見事に一致する！

■ フリートーク

- ・ 「先日亡くなったウルグアイのホセ・ムヒカ大統領のドキュメンタリー映画を観た。彼は貧しい家庭に生まれ、10 代から政治活動をして独裁政権に反抗する組織に加わり、何回も投獄された。13 年間投獄されたときには独房でもう一人の自分と話し合って生き延び、大統領にまでなった。これは今日の君子の生き方に通じる」

などの意見をいただきました。ありがとうございます。

皆で学ぶと議論が深まります。学ぶは愉し！難しいところも資料を用意して分かりやすく解説します。人間学に関心のある方はどうぞご参加ください。

